特集

船岡図書館・八東図書館 20周年を迎えました！

本と人がつながる場所

もっと身近に、もっと楽しく。

広がる図書館の可能性





郡家図書館





船岡図書館





八東図書館







町内には3つの図書館があります

町には、**郡家・船岡・八東**の3つの**図書館**があります。それぞれの地域に根ざしたサービスを行い、子どもから大人まで、幅広い世代に利用されています。

このうち、**船岡図書館と八東図書館は開館20周年**を迎えました。これまで図書館を支えてきた皆さんへの感謝とともに、これからも本との出会いや人との交流が生まれる場所として、図書館の魅力をお届けします。

知っておくと便利！ 図書館Q&A

Q 初めて図書館を利用するときは？

A 利用者カードを作りましょう！申込書に記入し、住所・氏名を確認できるもの（運転免許証など）を添えて、カウンターでお申し込みください。

Q 本は何冊まで借りられるの？

A 1人10冊まで、2週間借りることができます。返すときは利用者カードがなくても大丈夫！開館時間外は返却ポストをご利用ください。

Q 読みたい本が貸出中だったら？

A 予約ができます。図書館にない本も、ほかの図書館から取り寄せたり、購入を検討したりするなどの対応ができますので、ご相談ください。

Q もう少し長く借りていたいときは？

A 次の予約がなければ、**1度に限り2週間延長できます**。電話やホームページからも手続きができます。

郡家図書館

人の気配を感じながら、ゆったり本と向き合える場所

町内3館の中心的な役割を担う郡家図書館は、館内に並べている本の数が最も多く、幅広いジャンルの本に出会えます。おすすめは、**新聞**の充実ぶり。所蔵する新聞は6紙あり、町で購入している新聞がすべてそろっているのは郡家図書館だけです。

館内にはほどよく人の気配があり、静かすぎる場所は少し苦手という人にも過ごしやすい雰囲気。町内で唯一**2階に閲覧室**があり、読書はもちろん、勉強や自習にも利用できます。テスト期間には勉強に訪れる学生の姿も見られます。

また、絵本の読み聞かせやお話を聴くための**「おはなしのへや」**があり、季節の絵本や昔話の読み聞かせ、やさしい工作やゲーム等をする**「おはなし会」**を毎月開催しています。

新聞を読んだり、勉強に集中したり、自分に合った過ごし方を見つけてみませんか。



船岡図書館

子どもたちの声が響く、地域に開かれた図書館

船岡図書館は、小学校や放課後児童クラブに近く、放課後には子どもたちの声が聞こえる、にぎやかで親しみやすい雰囲気の図書館です。船岡庁舎や公共施設にも近いため、用事のついでに気軽に立ち寄ることができます。



館内では、**毎月テーマを変えた展示**を行っており、普段は手に取らないジャンルの本に出会うきっかけにもなっています。

また、竹林公園のある船岡地域にちなんで、**竹に関する本**もそろえています。

隣接する船岡地区公民館では、毎月、**子ども食堂**も開かれています（要事前予約、大人は有料）。図書館で本を読んだ後に食事を楽しむなど、地域の施設と合わせて利用できるのも魅力です。さらに、**語り手によるおはなし会**を夏と冬の年2回開催しています。本との出会いに加え、おはなしを聴く楽しみもある図書館です。

八東図書館

広々とした空間で、ゆっくり本の世界を楽しむ

天井が高く、開放感のある八東図書館。**広い絵本コーナー**では、子どもたちが自由に本を手に取ったり、家族で一緒に座って読書を楽しんだりできます。閲覧スペースもゆったりとしており、落ち着いて調べものをしたいときにもおすすめです。

所蔵する本は、閉架書庫にある本も含めて約5万冊。鳥取県出身の作家の作品を集めた**「とり漫コーナー」**には、谷口ジローさんの作品や、青山剛昌さんの『名探偵コナン』などの漫画も並びます。また、岩波文庫や、橋本興家さんの貴重な本を所蔵しているのも特徴です。

さらに、『吾輩は猫である』や『風立ちぬ』など、**文学作品の初版本のレプリカ**も所蔵。普段なかなか目にすることのできない貴重な装丁を、実際に手に取って楽しめます。

お気に入りの一冊を探しながら、ゆっくり過ごしてみてはいかがでしょうか。





お気に入りの本、見つけたヨ♡





こんな図書館があったらいいな。
みんなで考える、これからの図書館



船岡図書館・八東図書館の開館 20 周年を記念して、これからの八頭町の図書館について考える**意見交換会**を開催しました。

はじめに、鳥取県立図書館支援協力課長の高橋真太郎さんから、県内の魅力的な図書館の事例を紹介していただきました。利用者同士の学び合いや交流が新たな魅力を生み出すこと、地域への愛着につながることなどを聞き、「こんなこともできるかもしれない」という自由な発想で考えてみようと、参加者に呼びかけました。

その後、参加者は「こんな図書館だったらいいな」という思いを付箋に書き出し、グループごとに意見を交換。さまざまな立場からアイデアが寄せられました。



こんなアイデアがでました!



本との出会いや学びを、もっと豊かに

- 住民と一緒に本を選ぶ企画や、本のリサイクル・寄贈の仕組みがあるとよい
- 漫画や参考書、受験対策問題集なども充実してほしい
- 読書会やビブリオバトル、作家を目指す人を応援する場があってもよい



子どもから大人まで、誰もが集える場所に

- 子どもが安心して過ごせる場所や、勉強に集中できるスペースがほしい
- 子育て中の人もゆっくり読書できるよう、開館時間を延ばしてほしい
- ベビーベッドや自動販売機など、利用しやすい環境を整えてほしい



人や地域とつながる、開かれた図書館に

- カフェやミニシアターなど、ほかの機能と組み合わせた施設にしてはどうか
- 公民館や学校、若桜鉄道などと連携した企画ができるとよい
- バスとの接続を工夫し、誰もが図書館へ行きやすくしてほしい

このほかにも、「図書館で夏のお化け屋敷を開く」、「景色を眺めながらゆっくり過ごせる場所をつくる」など、自由で楽しいアイデアが次々と出されました!



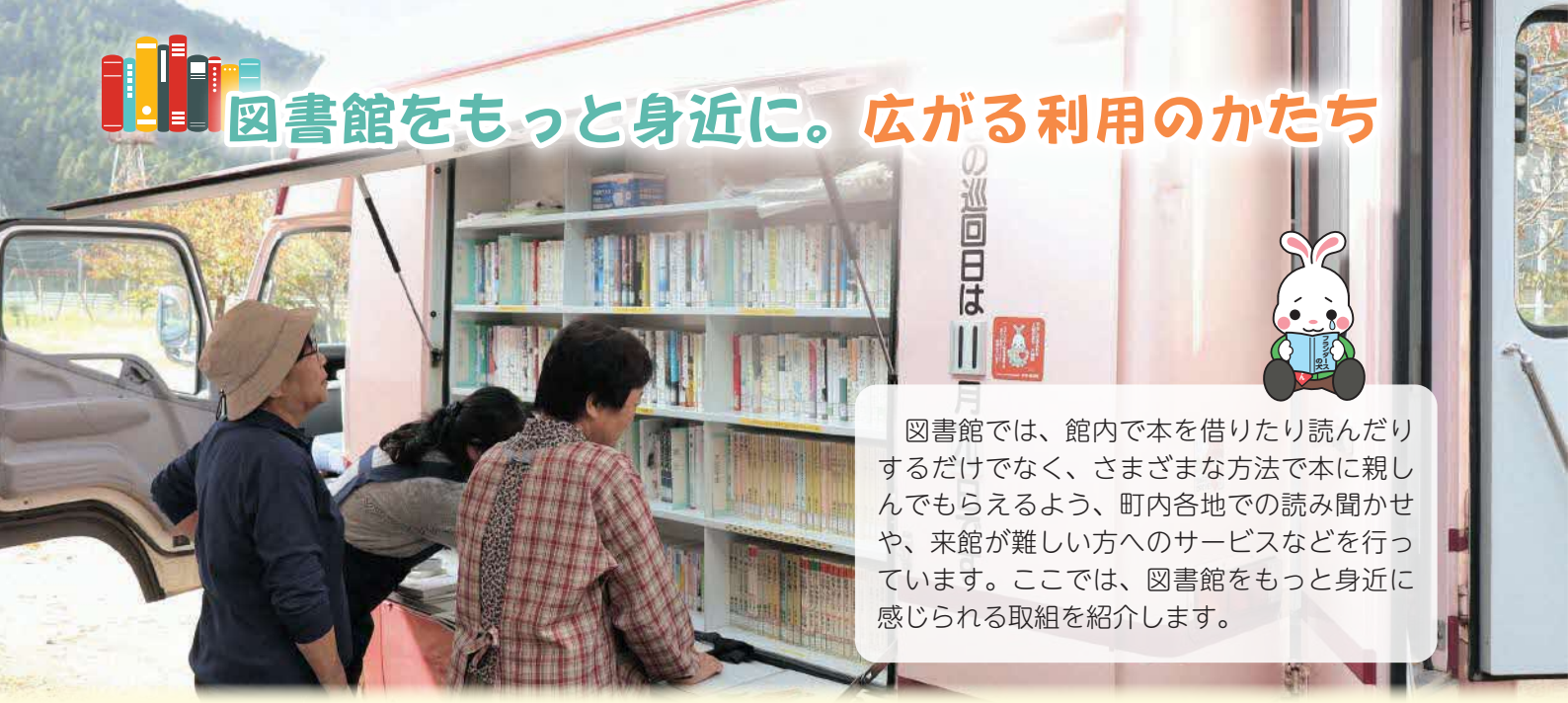
みんなで考える、これからの図書館　少しずつ形に



グループ発表の後には、出されたアイデアを振り返りながら、これからの図書館について意見を交わしました。高橋さんからは「最初からすべてを整えるのは難しいので、まずはイベントとしてできそうなことから始め、住民を巻き込んでいくことが大切」とアドバイスがありました。また、町長や教育長からも、地域の皆さんと一緒に図書館をつくっていくことや、読書・学びの場としての役割などについて話がありました。

子どもから大人まで、誰もが集い、学び、人とつながる場所へ。参加者それぞれの思いが交わされ、これからの八頭町の図書館の可能性を感じる意見交換会となりました。

図書館をもっと身近に。広がる利用のかたち



図書館では、館内で本を借りたり読んだりするだけでなく、さまざまな方法で本に親しんでもらえるよう、町内各地での読み聞かせや、来館が難しい方へのサービスなどを行っています。ここでは、図書館をもっと身近に感じられる取組を紹介します。

町内を巡回する移動図書館



図書館から遠い地域や、直接図書館へ足を運ぶことが難しい方のために、町内を巡回する**「移動図書館」**を運行しています。絵本や児童書、実用書、雑誌、小説など約 1,300 冊を積載。読みたい本が見つからない場合も、予約すれば次の巡回日にお届けします。巡回日程は広報やず 10 月号や町ホームページでご確認ください。





親子で本に親しむ読み聞かせ

月に数回、子育て支援センターなどで**「絵本の読み聞かせ」**を行っています。小さな子どもたちが絵本に親しむ機会として、親子で一緒に楽しめる内容です。その場で本を借りることもできます。

本を聴く・声に出して読む楽しみ

図書館では、**「おはなし会」**や**「あたまイキイキ音読教室」**も開催しています。司書による読み聞かせを聴いたり、声に出して本を読んだりすることで、普段とは違った本の楽しみ方に触れることができます。音読には、脳の活性化や集中力を高めるなどの効果も期待されています。

開催日程は広報やず**「みんなの図書館」**やホームページなどでお知らせしています。



こんなサービスもあります

図書の宅配　来館が難しい方に本をお届けします。

録音図書　本を耳で聴いて楽しめるサービスです。

※利用には条件があります。詳しくは各図書館にお問い合わせください。

図書館は、**本を借りたり読んだり**するだけでなく、**新しいことを知るきっかけ**になったり、**人と人がつながったり**する場所でもあります。誰もが気軽に立ち寄り、自分らしい時間を過ごせる場所として、図書館を身近に感じてみませんか。



郡家図書館　☎ 72-6660　船岡図書館　☎ 72-3970　八東図書館　☎ 84-6622

特集に関する問い合わせ　社会教育課　☎ 84-1232